

---

# リフォームに関する女性向けアンケートの分析

2017/2/14

築上町商工会

# 1. 調査の概要

---

調査対象者： 築上町内に在住する女性、もしくは、築上町内で勤務する女性

調査人数： 50人

有効回答数： 50人

調査期間： 2017年1月

集計・分析業務委託先： 中小企業診断士 加藤圭示

## 2. 調査項目

---

### 【回答者】

- (1)お住まいは築上町内ですか？
- (2)お勤め先は築上町内ですか？(専業主婦の場合はお住まい)
- (6)あなたの年齢層を教えてください。

### 【今の住まいについて】

- (3)お住まいは持ち家ですか、賃貸住宅ですか？
- (4)お住まいは戸建てですか、集合住宅(アパート、マンション等)ですか？
- (5)今のお住まいに何年前から住んでいますか？
- (9)今のお住まいは、築年数は何年ですか？
- (7)今のお住まいに満足していますか？
- (8)今のお住まいで改善したい点・場所はありますか？ <<複数回答可>>

以下は「持ち家」の回答者のみに質問

### 【リフォームのニーズについて】

- (10)最もリフォームしたい箇所・内容を教えてください？ <<複数回答可>>
- (11)質問(10)のリフォーム費用として、いくらぐらいを想定しますか？
- (12)質問(10)の回答以外で、興味のあるリフォーム箇所・内容はありますか？ <<複数回答可>>
- (13)今のお住まいを、これまでにリフォームされていますか？

以下は「今のお住まいをリフォームしたことがある」回答者のみに質問

### 【過去のリフォームについて】

- (14)リフォームをしたきっかけは何ですか
- (15)これまでにリフォームした箇所・内容を教えてください？ <<複数回答可>>
- (16)質問(15)のリフォーム費用として、合計でいくらぐらいかかりましたか？
- (17)リフォームした結果に満足していますか？
- (18)リフォーム会社はどうやって知りましたか？

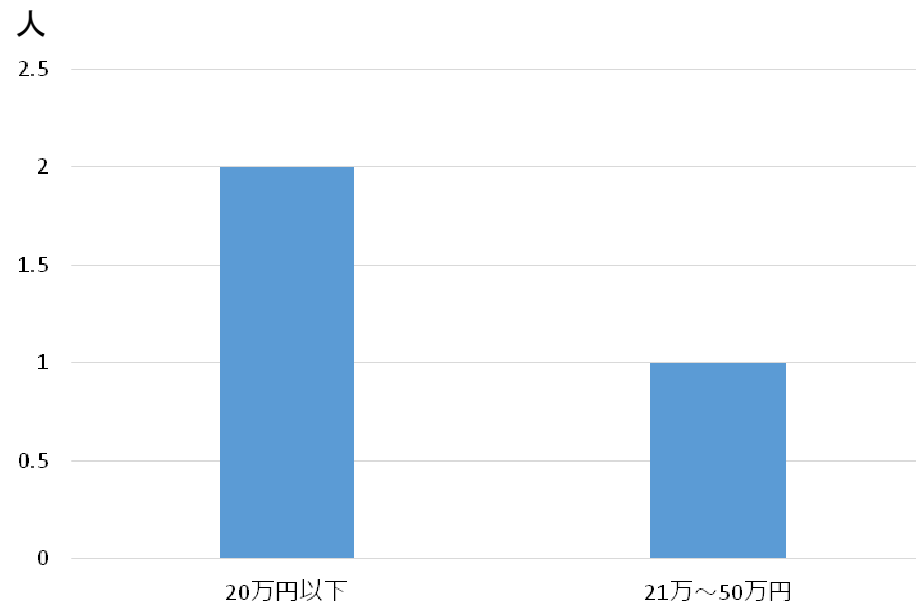
※括弧内の番号は、アンケート時の番号。本資料では、左に記載した順番で掲載している。

---

### 3. 回答者について①（集計結果）

質問(1) お住まいは築上町内ですか？

対象： 全員  
回答数：50人

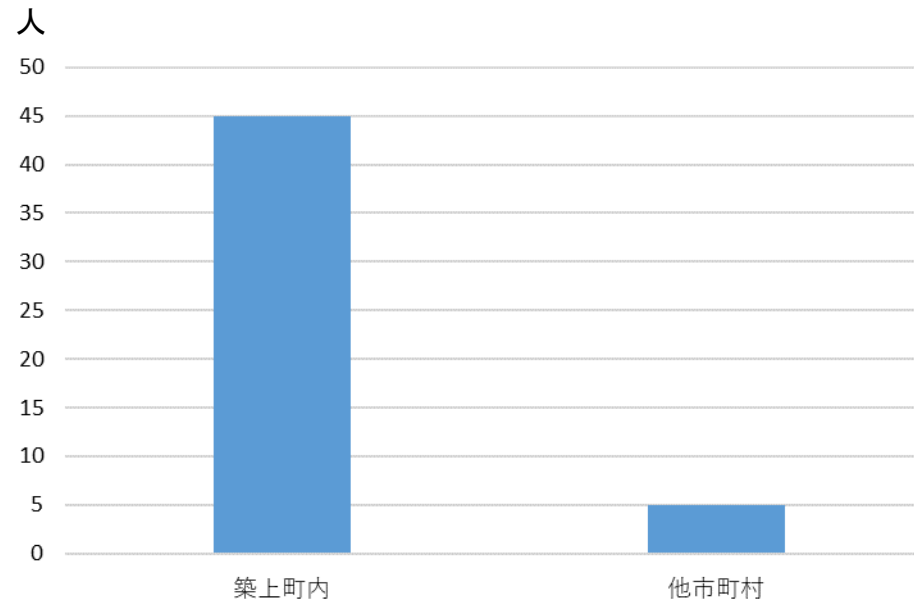


回答者の内、他市町村の在住者は1割のみなので、本資料ではお住まいが築上町内がどうかは  
区別せずに分析を行う。

## 4. 回答者について②（集計結果）

質問(2) お勤め先は築上町内ですか？（専業主婦の場合はお住まい）

対象： 全員  
回答数：50人

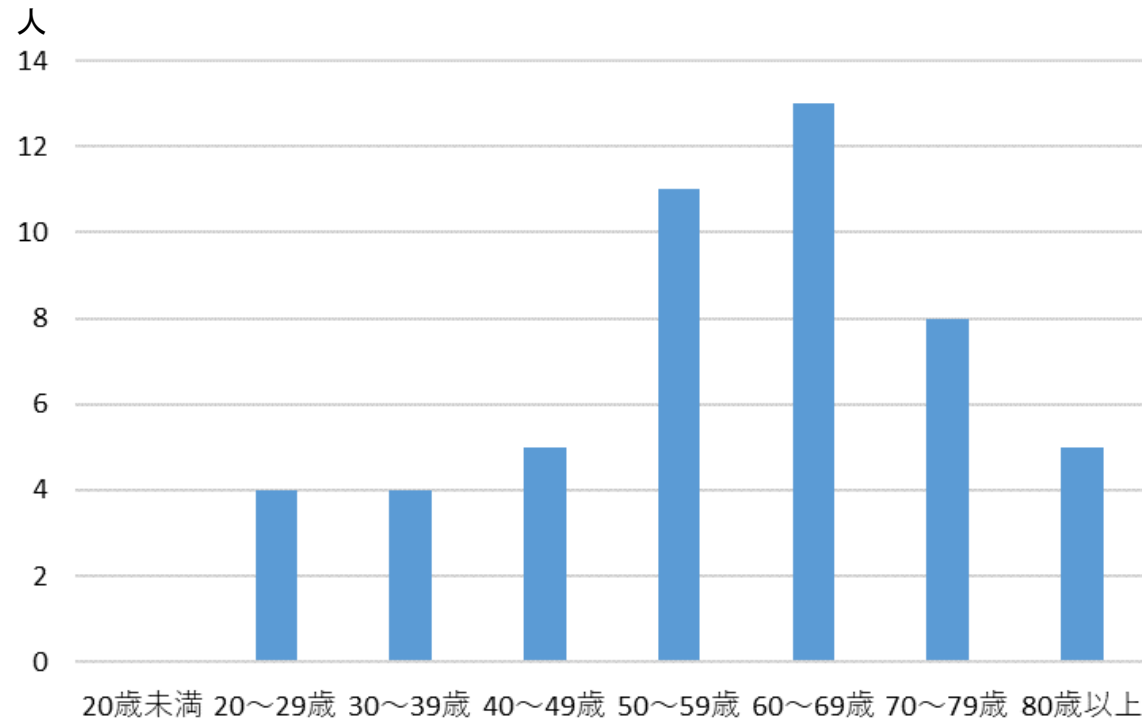


アンケート結果に対して、勤務先の所在地による影響はほぼないと考えられるため、本資料では勤務先が築上町内かどうかは区別せずに分析を行う。

## 5. 回答者について③（集計結果）

質問(6) あなたの年齢層を教えてください。

対象： 全員  
回答数：50人

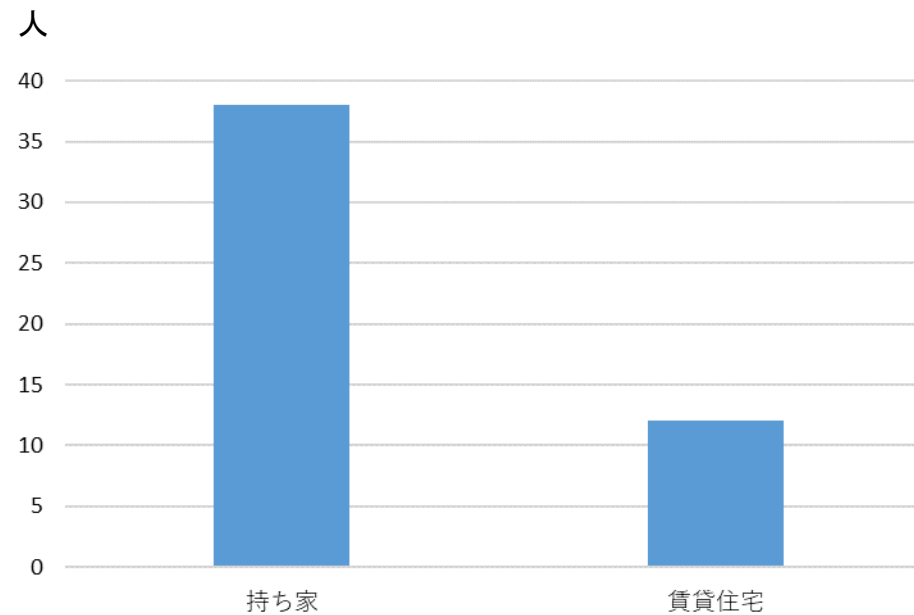


回答者の平均年齢が高い点を理解した上で本資料を見る必要がある。

## 6. 今の住まいについて①（集計結果）

質問(3) お住まいは持ち家ですか、賃貸住宅ですか？

対象： 全員  
回答数：50人

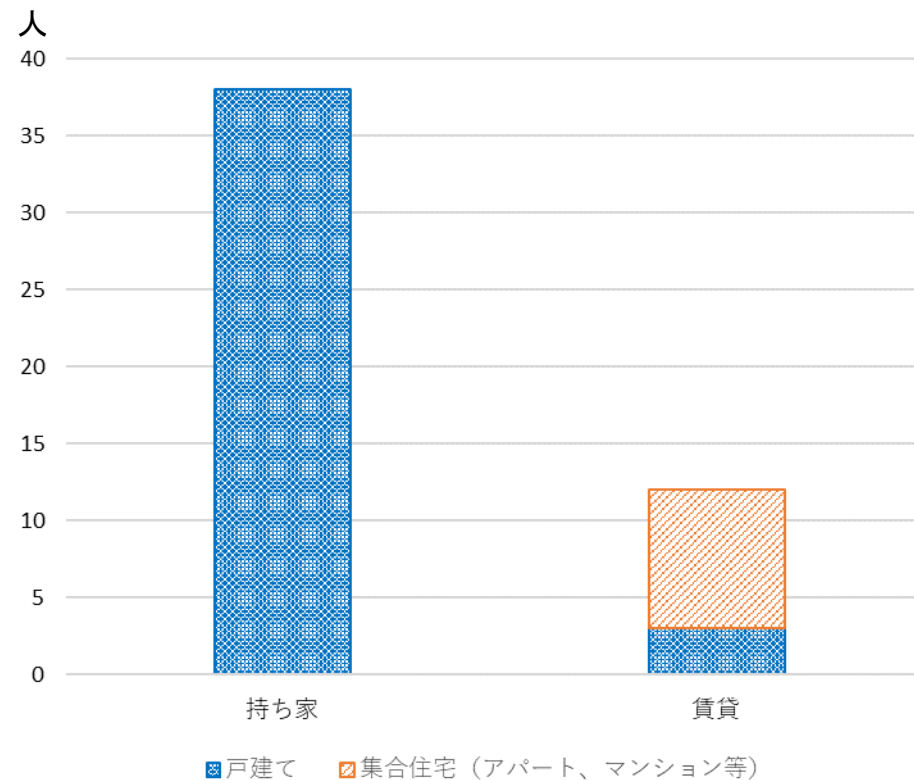


「持ち家のリフォーム」についての分析に必要な回答数は得られている。

## 7. 今の住まいについて②（集計結果）

質問(4) お住まいは戸建てですか、  
集合住宅(アパート、マンション等)ですか？

対象： 全員  
回答数：50人



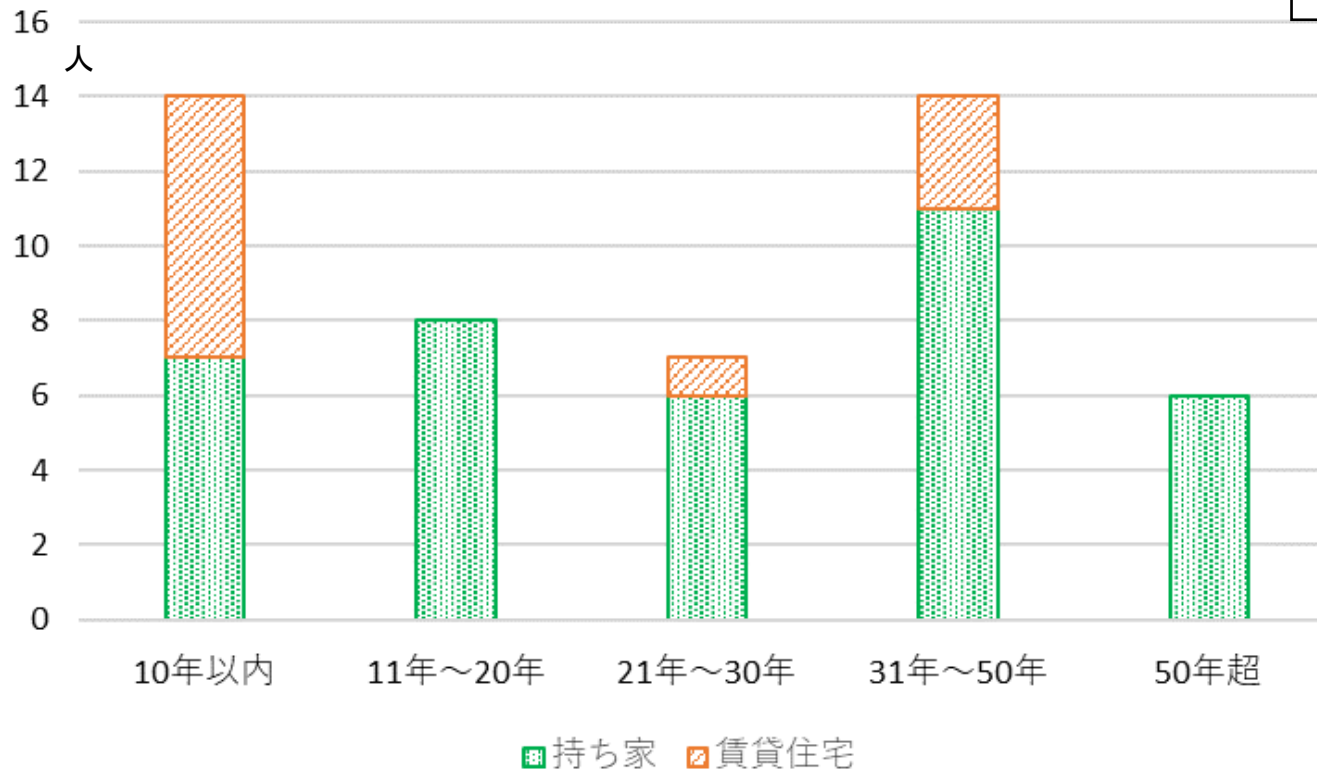
「持ち家」と回答した方のお住まいは全て「戸建て」であり、本資料では「持ち家＝戸建て」として分析を行う。



## 8. 今の住まいについて③（集計結果）

質問(5) 今のお住まいに何年前から住んでいますか？

対象： 全員  
回答数：49人

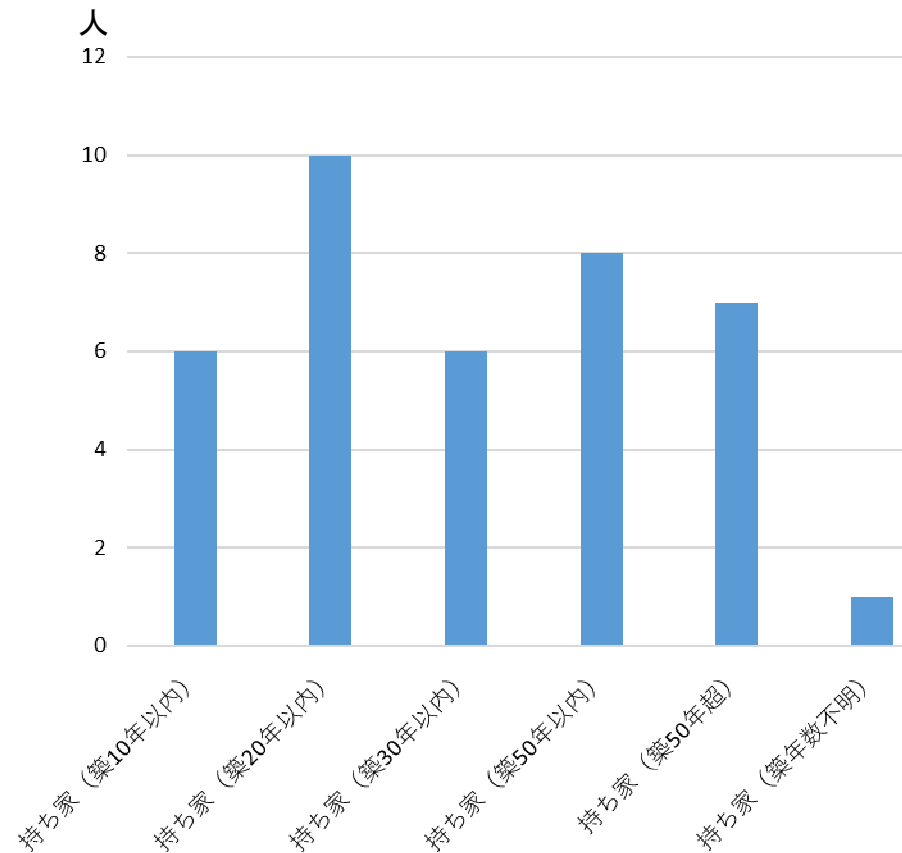


回答者の年齢層が高いため、50年超の回答も1割以上ある。

## 9. 今の住まいについて④（集計結果）

質問(9) 今のお住まいは、築年数は何年ですか？

対象:「持ち家」の  
人のみ  
回答数:38人

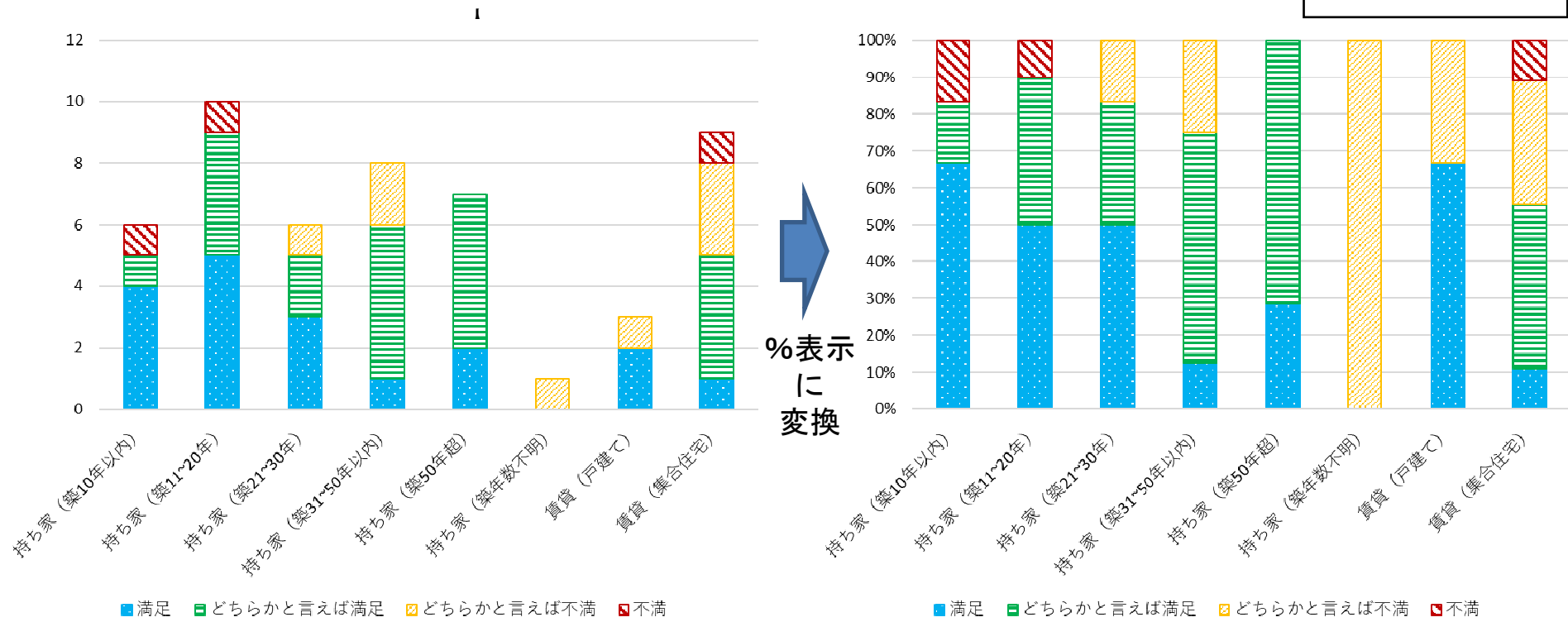


回答について、築年数の偏りはない。

# 10. 今の住まいについて⑤ (集計結果)

回答(7) 今のお住まいに満足していますか？

対象： 全員  
回答数：50人

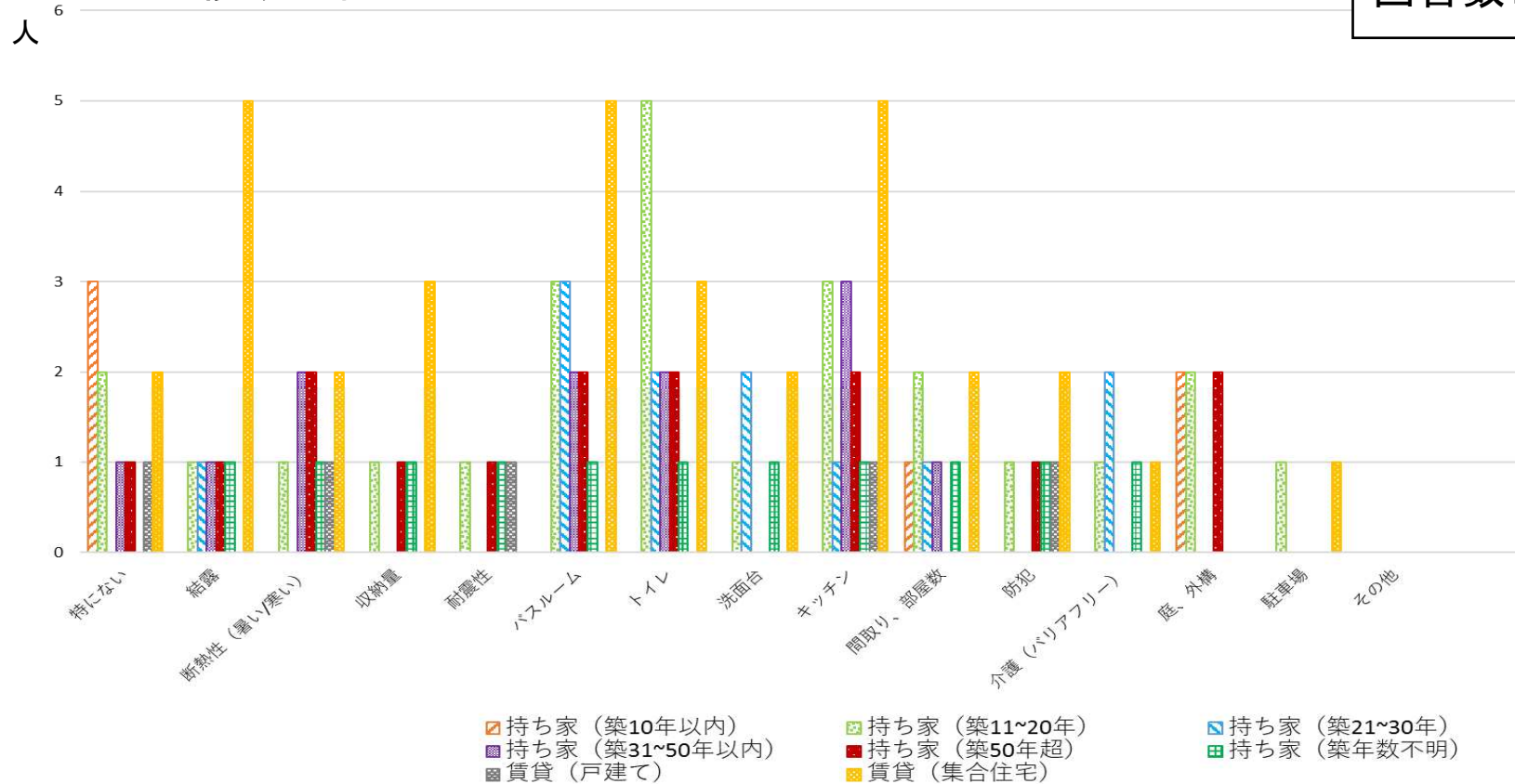


持ち家について、築年数が長くなる程、「満足」している人の比率が下がる傾向にある。  
賃貸（集合住宅）は「満足」している人が少ない。

# 11. 今の住まいについて⑥ (集計結果)

回答(8) 今のお住まいで改善したい点・場所はありますか？  
 <<複数回答可>>

対象： 全員  
 回答数：50人

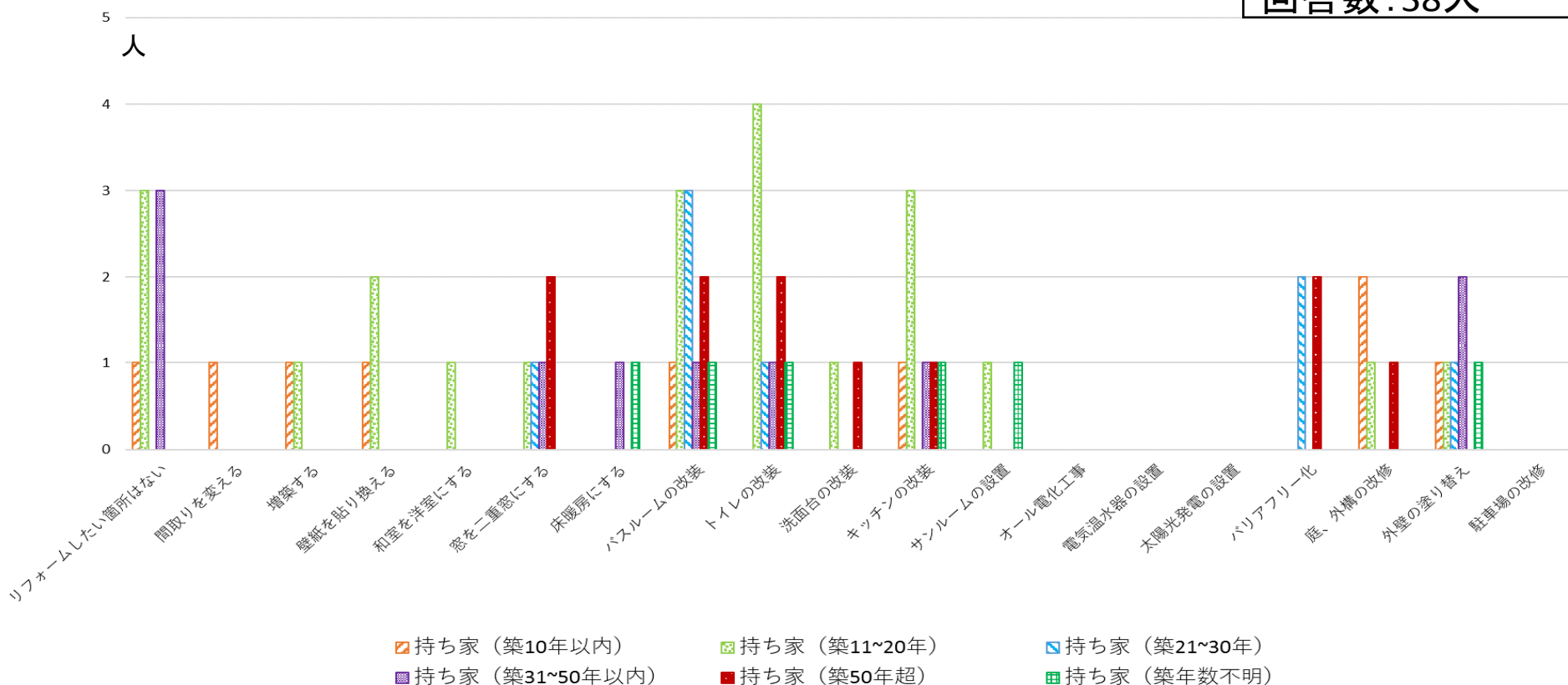


バスルーム、トイレ、キッチンといった水回りの回答が多い。  
 賃貸(集合住宅)は結露を改善したいという回答が多い。

## 12. リフォームのニーズについて①（集計結果）

回答(10) 最もリフォームしたい箇所・内容を教えてください？  
<<複数回答可>>

対象：「持ち家」の  
人のみ  
回答数：38人

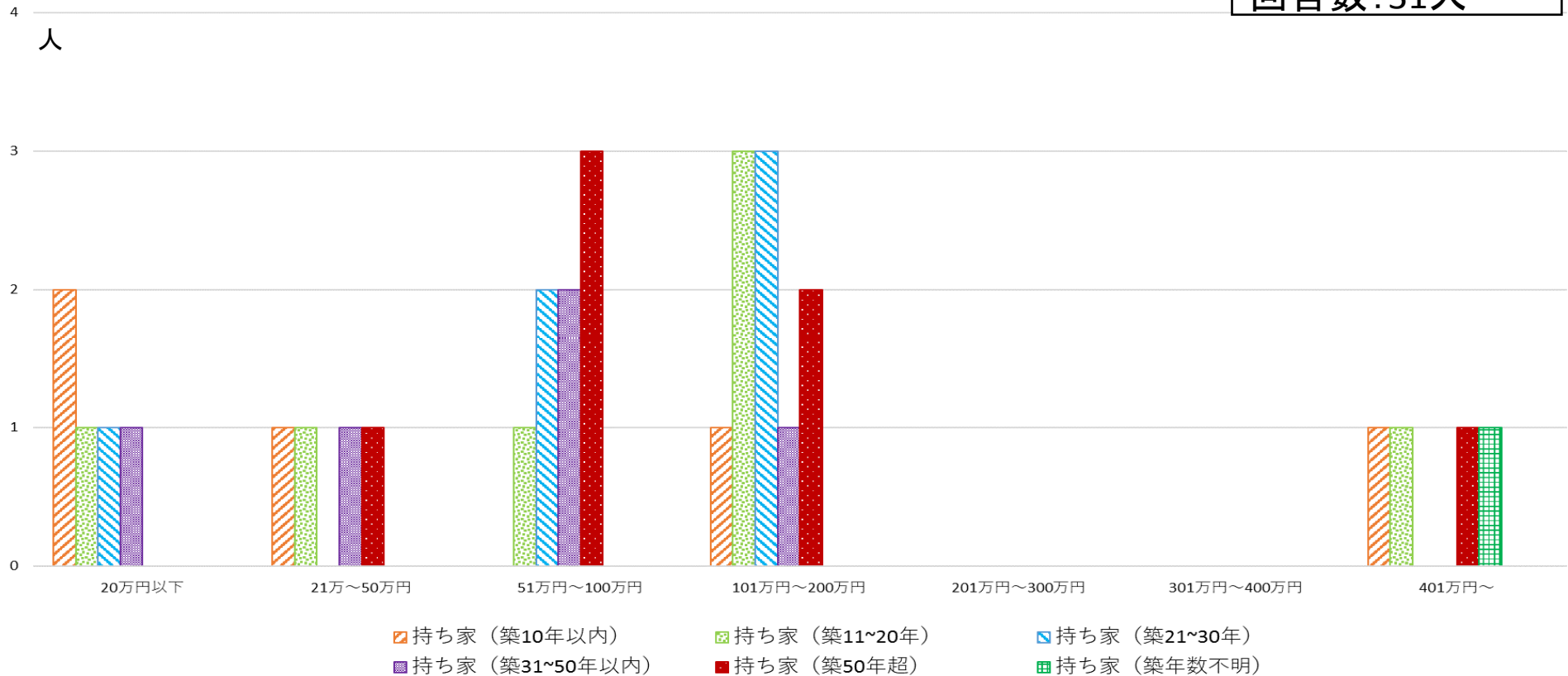


バスルーム、トイレ、キッチンといった水回りの回答が多い。  
オール電化、電気温水器の設置、太陽光発電の設置といった電化関係の回答は無い。

## 13. リフォームのニーズについて②（集計結果）

回答(11) 質問(10)のリフォーム費用として、  
いくらぐらいを想定しますか？

対象：「持ち家」の  
人のみ  
回答数：31人

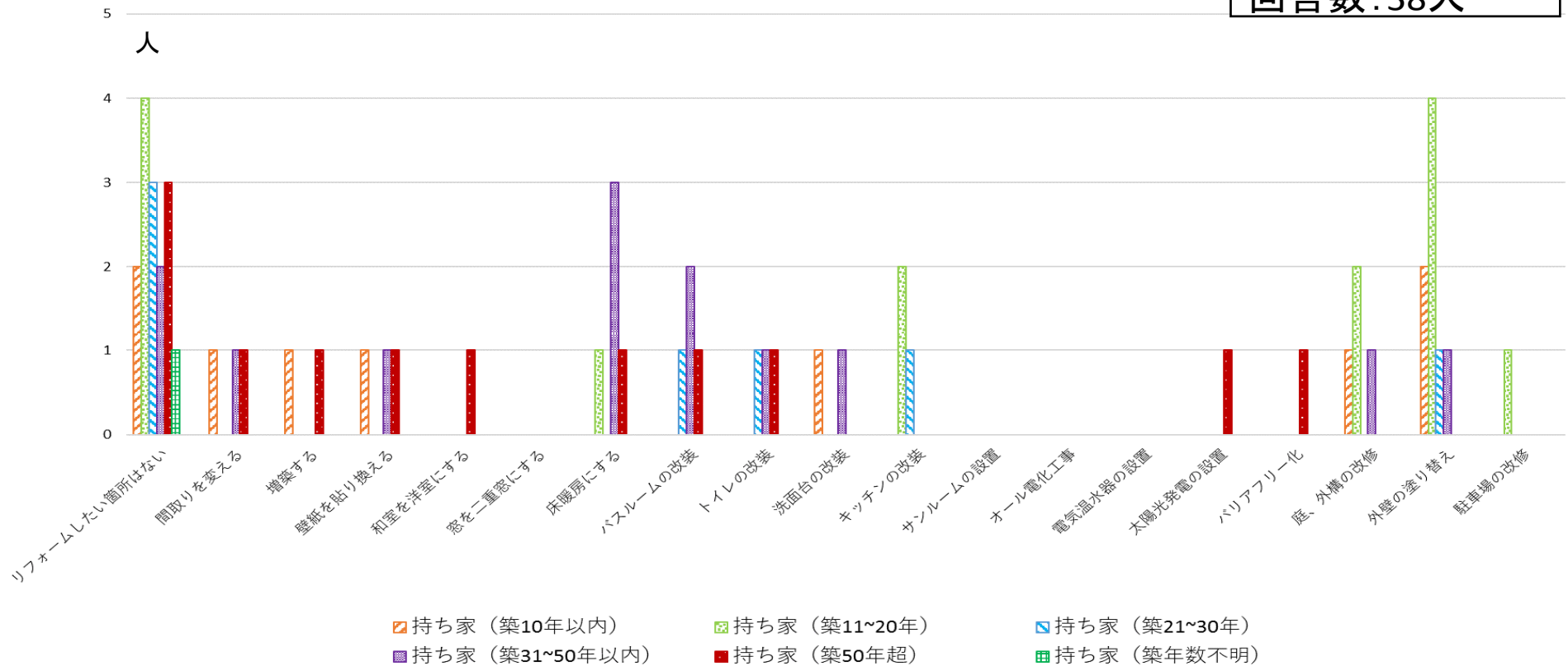


200万円以下に集中している。しかしながら、401万円以上との回答もある。

## 14. リフォームのニーズについて③（集計結果）

回答(12) 質問(10)の回答以外で、興味のある  
リフォーム箇所・内容はありますか？ <<複数回答可>>

対象：「持ち家」の  
人のみ  
回答数：38人

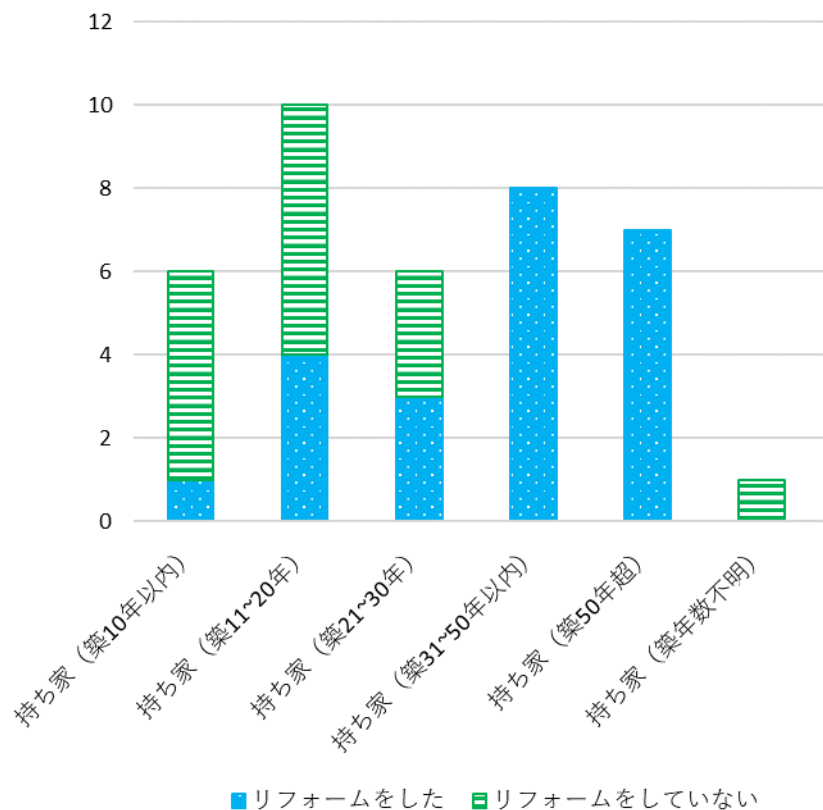


「外壁の塗り替え」の回答がやや多い。

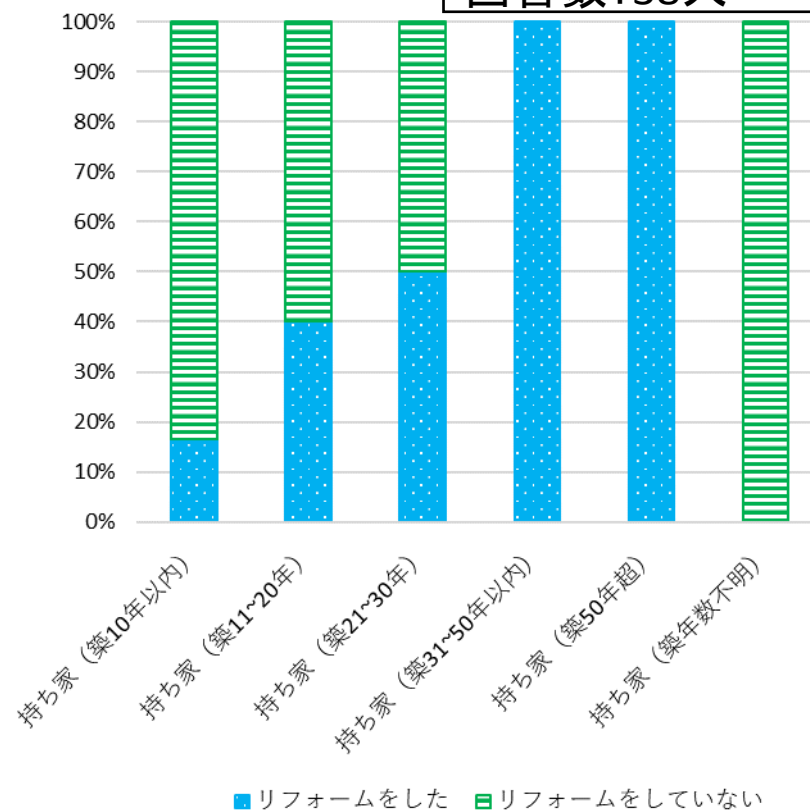
## 15. リフォームのニーズについて④（集計結果）

回答(13) 今のお住まいを、これまでにリフォームされていますか？

対象：「持ち家」の  
人のみ  
回答数：38人



➡  
%表示  
に変換



■リフォームをした ■リフォームをしていない

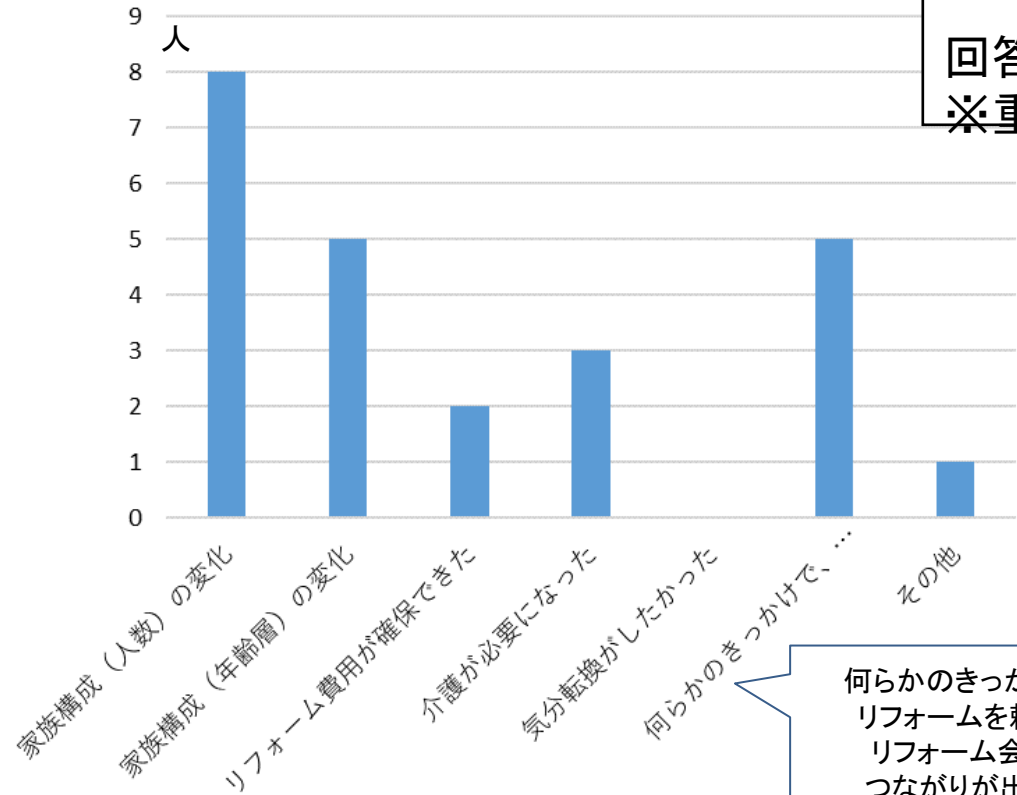
■リフォームをした ■リフォームをしていない

築年数が増えるほど、「リフォームをした」家は増加している。  
今回の調査では、築30年を超えると100%がリフォームされている。



## 16. 過去のリフォームについて①（集計結果）

回答(14) リフォームをしたきっかけは何ですか？



対象:「今の家をリフォーム

をした」人のみ

回答数:23人

※重複回答が1名あり

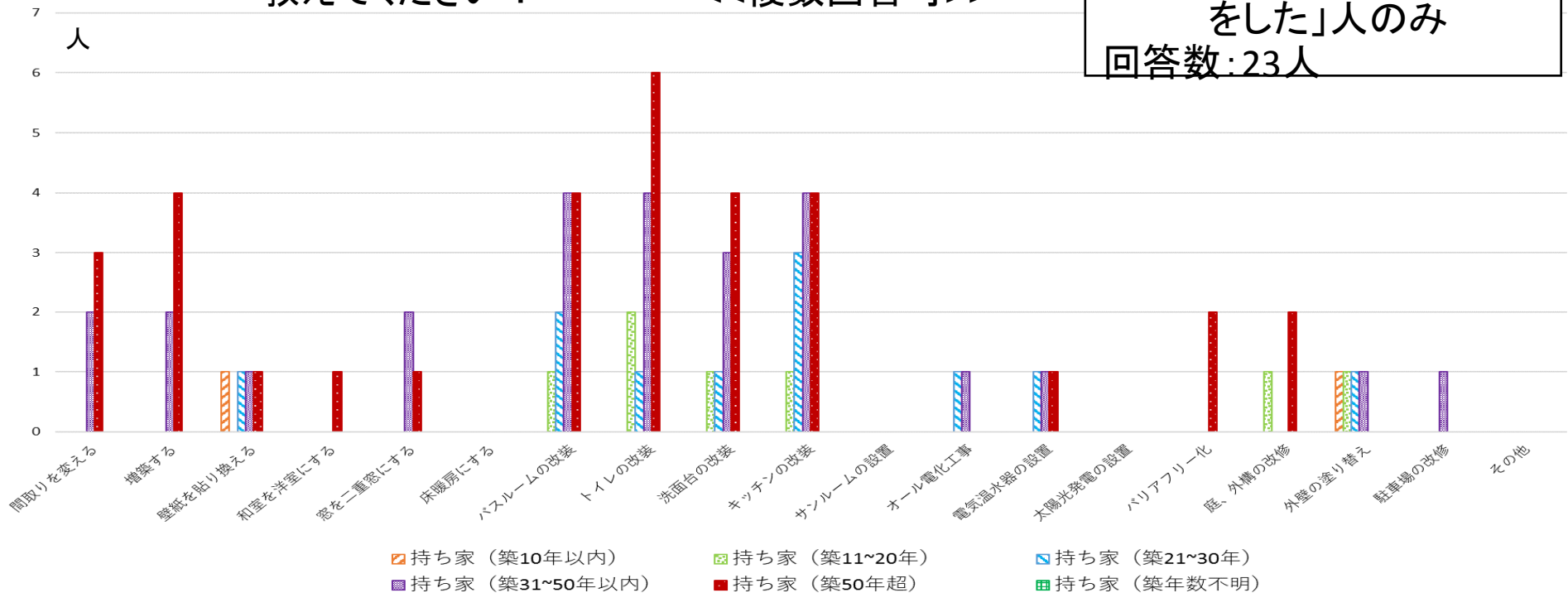
何らかのきっかけで、  
リフォームを頼める  
リフォーム会社と  
つながりが出来た

「家族構成(人数)の変化」の回答が最も多い。

## 17. 過去のリフォームについて②（集計結果）

回答(15) これまでにリフォームした箇所・内容を教えてください？ <<複数回答可>>

対象：「今の家をリフォームをした」人のみ  
回答数：23人

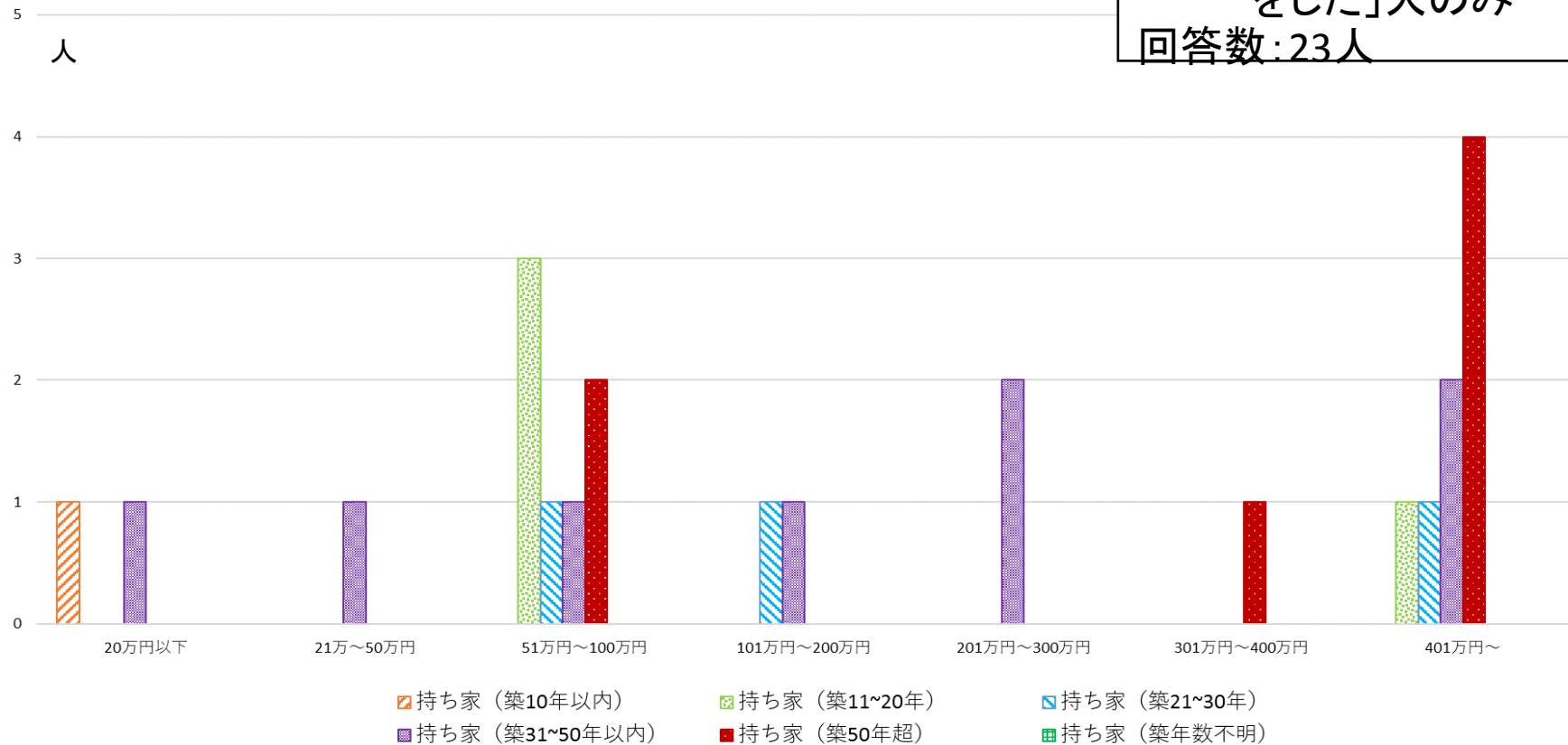


「間取りを変える」、「増築する」といった、部屋の構成を変えるリフォームと、「バスルームの改修」、「トイレの改修」、「キッチンの改修」といった水回りのリフォームの回答数が多い。「洗面台の改修」については、「回答(10)最もリフォームしたい箇所・内容を教えてください？」では回答数が多くなかったことから、水回りの他の箇所といっしょについてリフォームしたという可能性が考えられる。

## 18. 過去のリフォームについて③ (集計結果)

回答(16) 質問(15)のリフォーム費用として、  
合計でいくらぐらいかかりましたか？

対象:「今の家をリフォーム  
をした」人のみ  
回答数:23人

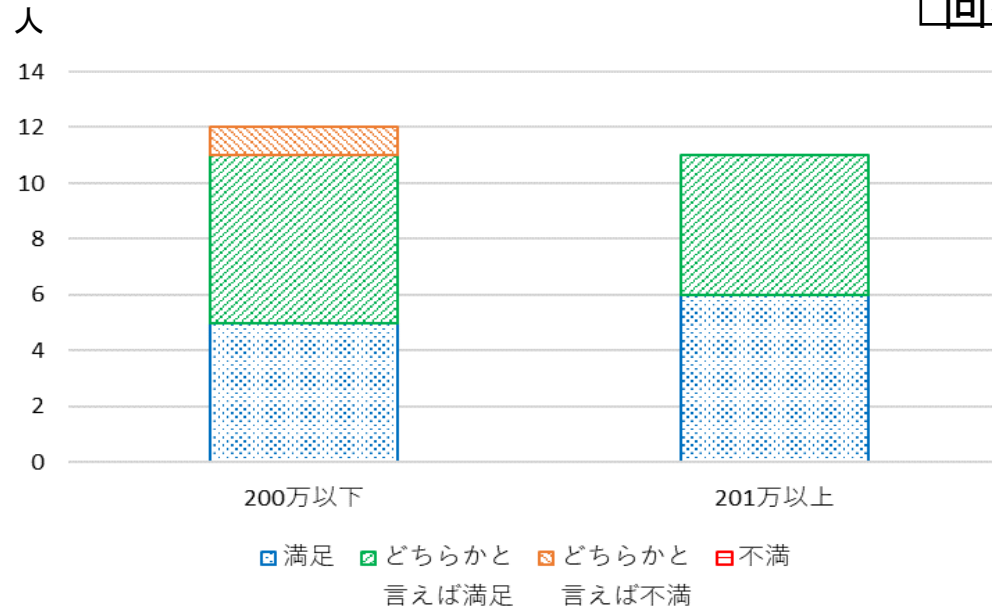


「51万円~100万円」と「401万円~」の回答が多い。

## 19. 過去のリフォームについて④（集計結果）

回答(17) リフォームした結果に満足していますか？

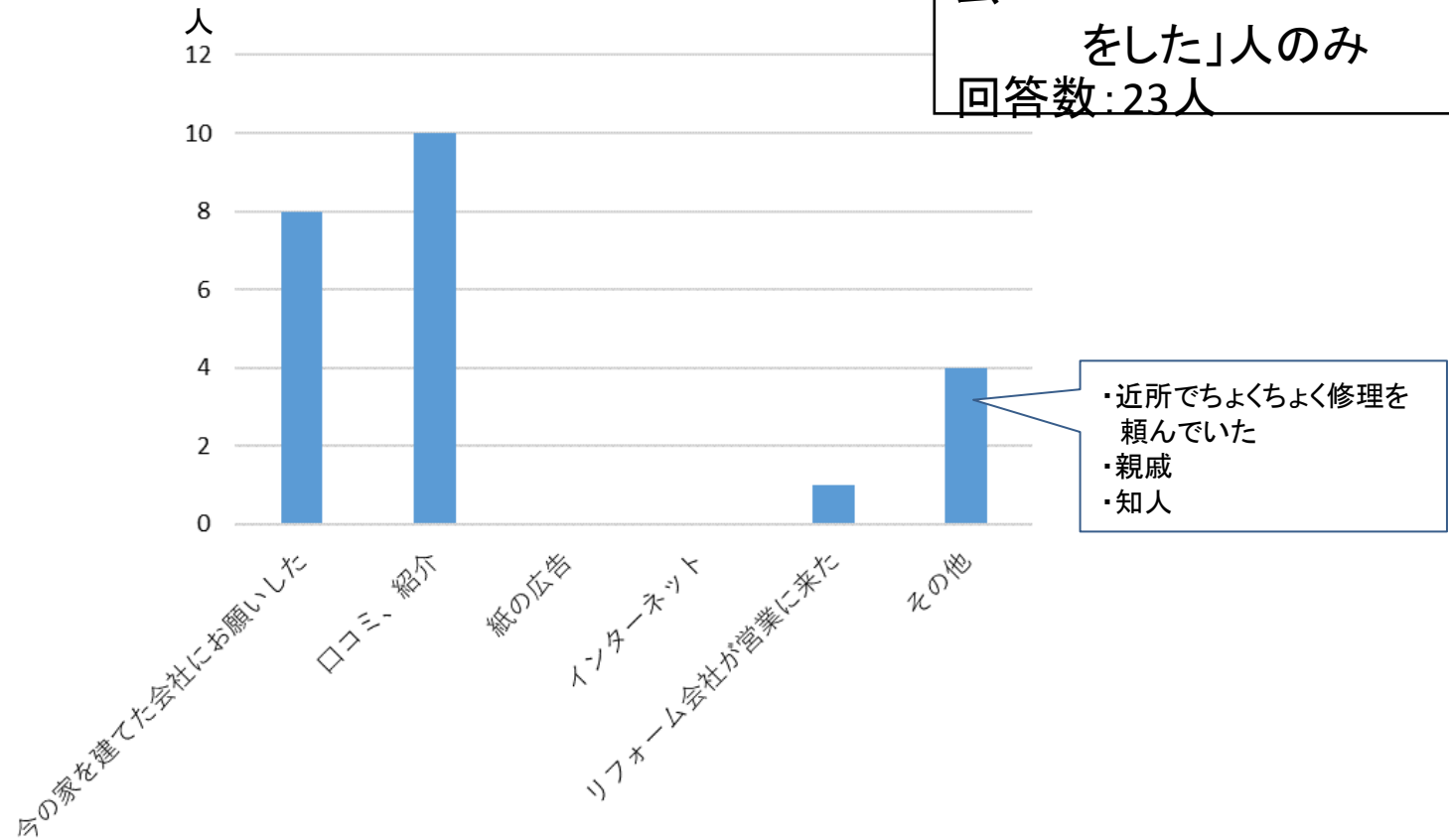
対象：「今の家をリフォーム  
をした」人のみ  
回答数：23人



ほとんどが「満足」か「どちらかと言えは満足」という回答である。

## 20. 過去のリフォームについて⑤ (集計結果)

回答(18) リフォーム会社はどうやって知りましたか？



「今の家を建てた会社にお問い合わせした」と「口コミ、紹介」に回答が集中している。

## 21. まとめ

---

「回答(18) リフォーム会社はどうやって知りましたか？」の回答(P.21参照)が「今の家を建てた会社をお願いした」と「口コミ、紹介」に集中している。理由は、リフォームは、かかる費用が高額であり、なおかつ、量産品の購入ではなく、一品ものを購入するという性質であることから、リフォームの依頼先の選定では「信頼できるかどうか」という点が重視されるためと推察される。そのため、リフォームの営業活動に関しては、信頼感を醸成するための長期的な活動が重要であると考えられる。